

「かつしか教室」の講師が
文部科学大臣表彰を受けました

文部科学省では、平成29年度から、障害者の生涯学習活動を支援している個人や団体のうち特に功労が顕著である方に対して、「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を行っています。

永年「かつしか教室」の講師をつとめ、知的障害者の社会教育活動に尽力された大滝敏市氏が、今年、表彰を受けました。12月4日に、文部科学省で表彰式と事例発表会がありました。



受賞された大滝敏市氏

大滝氏は、永年にわたり区立中学校で障害児教育に尽力される傍ら、休務日に「かつしか教室」の講師(指導者)として活動されました。教職を退かれた後も、昨年度まで、合計して34年間にわたり講師を継続されました。

大滝氏は、参加者や保護者からの信頼が厚いだけでなく、特に、主任講師として講師集団をまとめつつ、参加者の意欲

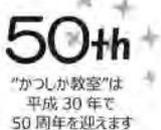
と自主性を引き出すプログラム開発に尽力されたことが高く評価されました。

◆大滝敏市氏の受賞の言葉

今回の受賞は、私個人のものではなく、「かつしか教室」を代表しての受賞だととらえています。また、多くの皆さんの支えがあってこそこの受賞だと考えています。

「かつしか教室」は50周年を迎えましたが、その間、学級生(参加者)、保護者、関わったスタッフといった、大変多くの人々の「つながり」がありました。その「つながり」は、宝です。その中で、たくさんの学び合いがあったことを、これからも忘れないでいたいと思います。

◆50周年を迎えた「かつしか教室」



昭和44年に障害者青年学級として開設された「かつしか教室」は、平成30年で50周年を迎えました。初めは1か所(二上小学校内)のみだったものが、今では、3か所の学び交流館(新小岩・柴又・水元)で開催されています。現在、182人の方が、月に1回日曜日の

午後に、レクリエーションやスポーツ、料理、音楽、創作などの生涯学習活動を行っています。年に1回、旅行や遠足にも出かけます。

◆仲間に出会える楽しいところ

参加者からは、「かつしか教室」は、とても楽しい、「仲間に出会えるところ」、「毎月来るのが楽しみ」という声がかかります。多くの人が継続して参加しています。

知的障害のある方は、日頃の社会生活の中で受けるストレスを解消する場が多くありません。「かつしか教室」は、心身を解放し、リフレッシュする場となっています。活動を通して、参加者ができることを増やしていくことにもつながっています。



運動会



年に1回の遠足

◆「かつしか教室」の参加者を募集します(平成31年度)

「かつしか教室」に参加できるのは、15歳以上の知的障害のある区民です(特別支援学校在校生は3年生のみ)。参加申し込みは、毎年2~3月に受け付けています。詳しくは、お問い合わせください。

生涯学習課 ☎(5654)8479